



# 八卦台

No. 1 1

平成30年3月1日  
男鹿市立潟西中学校

## 潟中生の活躍がめざましい1年でした 目指す生徒像に照らして29年度を振り返る

校長 森山 直人

3月を迎え、今年度も残すところあと1か月となりました。3年生は、今月6日に迫った公立高校一般選抜に向けて、最終の追い込みに入っています。全員合格で桜咲く4月を迎えられるよう、潟西中みんなでご応援しています。

さて、卒業式、修了式前最終となる今号では、今年度の潟西中の成果を、目指す生徒像「学ぶ・挑む・関わる」に照らして振り返ってみます。

### 学

学習に励む生徒



1 A 国語研究授業(9/14)→

#### ◎基礎テストの合格率が向上!

平均点、のべ合格率がそれぞれ昨年度以上に向上し、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られてきました。3年生1名が全回満点で合格しました。

	1年	2年(経年比)	3年(経年比)
平均点	90.3	92.5 (+7.4)	91.6 (+4.8)
のべ合格率	85.5	91.3 (+1.3)	89.6 (+9.5)

生徒一人一人が、やればできることをこつこつ積み重ねた成果であり、家庭学習の習慣もしっかりと身に付いてきたことの現れです。

#### ◎県学習状況調査で県平均を上回る!

12月に1、2年生が取り組み、合計点で県平均を超えました。特筆すべきは、潟西中の長年の課題であった数学、英語が1、2年生共に県平均を超えたことです。潟中生と先生方が、よい関係を築きながら、学びを深めてきた成果です。※詳細は前号をご覧ください。

### 挑

目標に向かって  
挑む生徒

2年蕎麦打ち体験(11/16)→

#### ◎部活動でたくさんの栄冠が潟西中に!

男鹿市中体連と潟上南秋中体連が統合し、県大会出場枠が狭められた中、総合体育大会では、女子バスケットボール部、陸上競技部個人、相撲個人が県大会へ進出しました。さらに、東北大会へは2名が出場し、女子相撲は今年度も全国レベルの活躍でした。小規模校にあって快挙の成績でした。

運動面のみならず、数々の弁論大会、作品展でも優秀な成績を収める生徒がたくさんいました。文武両道で成果を挙げた潟中生でした。

※各種大会等の成績は、これまでの「八卦台」をご確認ください。

#### ◎地域を舞台とした体験活動が充実!

生きること、働くこと、学ぶことつながりを体得できるよう、様々な体験活動に取り組みました。キャリア講話(そば打ち体験、コントラバス・コンサート等)、4日間の職場体験、2日間の施設訪問など、専門家の方々やたくさんの地域の皆さんに直接関わらせていただきました。ふるさとのよさを実感しながら、将来の夢や目標が少しずつ明確になり、前向きに取り組む生徒の姿が見られるようになってきました。

### 関

友達と  
関わり合う生徒

地域との防災訓練(10/30)→

#### ◎学年を越えた関わりで“あったか”潟西中に!

今年度から始めた全校縦割り班清掃では、3学年の混合班で取り組みました。3年生のリーダーシップの高まりや自己有用感の醸成につながるるとともに、後輩が先輩の姿を見て、次年度の自分の姿をイメージできるようになりました。

球技大会では、学年を越えて競い合い、終始笑顔の絶えない和やかな大会となりました。全校が一緒に仲良く交流できることは、潟西中の自慢です。

#### ◎合同防災訓練で「地域の潟西中」を確認!

自然災害が起きたとき潟西中は避難所として機能しなければなりません。その第一歩として、近隣地区(福米沢、土花)との合同防災訓練を実施しました。救急救命講習には、地域のみなさんと潟中生が一緒に取り組み、互いの実演に自然に拍手が沸き起こるなど、潟中生の優しい姿が見られました。

このような成果が見られたのは、生徒と教師の厚い信頼関係のもと、本校職員が日々地に足の着いた指導を積み重ねてきたこと、そして、地域や保護者の皆様のお力添えがあったからこそです。来年度も、「自らの手で未来を拓く生徒の育成」を目指した教育活動を、一步一步着実に展開してまいります。今後ともご支援の程、どうぞよろしくお願いたします。

# 学校経営への評価をいただきました

## 第4回学校運営協議会

2月2日、今年度の最後となる第4回学校運営協議会を開催しました。冒頭に森山校長が、目指す生徒像「学ぶ・挑む・関わる」とCSに関わる今年度の取組及び自己評価について説明しました。それを受け、ご出席くださった6名の委員の皆様からご意見と評価（学校関係者評価）をいただきました。

### 【学校運営協議会委員の皆様のご意見】

#### (1) 『学ぶ（学習に励む生徒）』について

☆アンケートに「自分から進んで情報を集めたり、誰かに質問したりしていますか」という質問があったが、先生に聞くだけではなく、友達同士教え合うことも学力が伸びる要素ではないかと思った。

☆「勉強が好き」の割合が低いが、アンケート結果を昨年度と比較したらどうか。勉強が嫌いになっていることはないか。(※1)

☆教科の点数（通過率）は県平均以上なので、先生方や家庭の努力がうかがえる。「勉強が好きだ」が下がり、「勉強が分かる」が上がっているのが不思議だ。

#### (2) 『挑む（目標に向かって挑む生徒）』について

☆縦割り班活動（毎日の清掃活動など）は、より方につながっていると感じる。  
☆昨年度の生徒のアンケートでは、無言清掃が学校の自慢であった。3年生の姿を下級生が見ていたと思う。これからも続けてほしい。

☆様々な取組から、先生方、子どもたちの一生懸命さが伝わってくる。昔は地域でも子ども会などの縦のつながりがあったが、今はそのような機会がないので、縦割り班の活動はとてもよいことだと思う。

#### (3) 『関わる（友達と関わり合う生徒）』について

☆校長先生は毎朝、一人一人に挨拶をしている。学校では挨拶運動にPTA会員も参加するように通知はしているが、なかなか参加できないのが現状である。

☆先生は子どもと会ったとき「おはよう」だけで終わるのではなく、よく観察して心の動きまで捉えてくれればありがたい。(※2) 生徒は地域で会ったときも、きちんと挨拶をしてくれている。

☆中学校は教科担任制なので、生徒の多様な様子が見取れるが、それを共有できているようなのでよいと思う。

☆子どもたちのよい自己評価は、先生が子どもをよく見て関わっていることの裏返しではないか。子どもにとって先生が一番の指標である。先生方は忙しく、大変な中でやってくれている。愛情をもって接してくれてありがたい。



#### (4) 『コミュニティ・スクール』について

☆学校運営協議会については、会議があるので来てくださるだけでなく、給食試食、演奏会を兼ねるなど創意工夫がある。自分たちの意見も積極的に聞いてもらえ、協議会に参加するのが楽しみである。

☆学校報は字が大きくて読みやすい。学力調査のよい結果もうれしかった。是非、今後も継続してほしい。子どもが中学校を卒業しても、この学校報を読めば瀧西中のことがよく分かり、瀧西中を身近に感じられる。

☆部活動や行事をよくやってくれてありがたいが、働き方改革とも言われている。学校は仕事にきりがいい職場である。部活動や授業など、先生方の負担や重荷になっていないか。(※3)

☆先生方が頑張ってくれている。学校の雰囲気がよく、それが子どもの成長につながっていると思う。うちの小学生の子どもも、瀧西中に入りたいと思う。



### 【学校からの回答】

※1 教科の点数（通過率）は向上しています。勉強が好きかと問うと、「好き」ではないという回答が多いのですが、教科ごとに問うと「好き」と答える生徒の割合は、多くの教科で増加傾向にあります。

※2 職員は朝の挨拶での子ども様子や授業中把握した子どもの様子、変化などを職員室で伝え合っています。

※3 職員は毎日約1～2時間の残業をしています。国でも負担を減らす取組を提案していますが、導入は少し先になりそうです。お心遣いありがとうございます。

紙面の関係で全てのご意見を掲載できませんが、協議の内容は多岐にわたりました。取組に対する具体的な評価に加え、生徒への温かい励ましの言葉や職員への労いの言葉をいただき、本当にありがとうございます。

この評価を生かし、来年度はさらに充実した教育活動の展開を目指します。

## 3月の行事予定

1	木	学校安全点検日
4	日	部活動休止日
6	火	公立高校入学者一般選抜学力検査実施日 ようこそ先輩！瀧中版（進路学習会）
7	水	3年生を送る会
8	木	卒業式予行
9	金	第63回卒業証書授与式
14	水	公立高校入学者一般選抜合格者発表日
15	木	職員会議 美里小卒業式
18	日	部活動休止日
19	月	PTA会計監査、二役会
20	火	修了式
21	水	春分の日
22	木	春季休業
28	水	離任式



## 栄光の足跡 今年度の締めくくり！

### ☆あきた家族ふれあいサンサンデー作文

- 【最優秀賞】 2年 杉本 千尋  
いつも前向きな父にありがとう
- 【優秀賞】 2年 薄田菜那子  
レトルトカレーの偉大な業績

## 瀧中Topics

### ◆2月2日 コントラバス・コンサート

本校の学校運営協議員でもある、こおひい工房珈音（かのん）の佐藤毅さん（五里合在住）によるコントラバス・コンサートを1年ホールで開催しました。

はじめに、4種類の弦楽器の大きさや音色を比べた後、本校の澤木教諭のバイオリンと佐藤さんのコントラバスの二重奏「浜辺の歌」を鑑賞しました。ぴったりと息の合ったとてもきれいなハーモニーでした。

続くキャリア講話では、佐藤さんの生い立ち、男鹿の地でコーヒーの焙煎をしようと決意した過程や男鹿に対する思い、「ホテルカフェ」などの取組をゆったりとした優しい語り口で教えていただきました。

その後演奏は、バッハ作曲「無伴奏チェロソナタ」より「プレリュード」、カザルス編曲のカタロニア民謡「鳥の歌」と続き、ラストは宮沢賢治作曲「星めぐりの歌」でした。コントラバスの深い音色が魂の叫びのように響き、深い感動に浸らせていただきました。

当日は本校1、2年、学校運営協議会委員の皆様に加え、地域の方も4人お越しくださいました。2月1日発行の学校報での急なお知らせでしたが、ご来校ありがとうございました。



バイオリン、ビオラ、チェロ

高度な技術もさりげなく

## 手作りのすてきな鈴をいただきました

2月20日、男鹿地区更正保護女性会の会長 吉田萬里子様をはじめ6名の方が瀧西中学校を訪れ、手作りの鈴を85個届けてくださいました。

シジミ貝をきれいな布で飾り付けた鈴には「みなさんは、たくさんの方の人たちに見守られています」という思いが込められています。

心のこもったすてきな鈴を大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

